

東京オリンピックを
強く意識させる「20
20(ニーゼロニーゼ
ロ)」を翌年に控える
年を迎えた。今年は、
オリンピックの話題で
日本中が沸き立つのだ

フリー便風 (現場)からの

(32)

宮田 守男

う。長野冬季オリンピックでも、1年前イベントをはじめ、多くの本番を見据えた各種大会が開催され地域が盛り上がった事を今まで鮮明に覚えてる。競技会場としての白馬も、世界にHAKUBAをアピールする最大の機会と捉え、数多くの戦略が繰り広げられた。

その中でも、オリンピックのロゴ(五輪マーク)が使用できる競技会場地の利点での知恵比べだった。現在は、ロゴ使用の許可を得ていた長野オリンピック組織委員会が解散したため、新たにピック組織委員会が解

いる店舗もある。
東京オリンピック開幕までオリンピックへの関心は日増しに高まるに違いない。そして2020年に向け多くの長野県民が東京方面に出かける機会も多いはずだ。その時には、

更に活かす知恵と行動が大切だ オリンピック開催地としての財産を

ろうか。オリンピックで再度盛り上がりな理由は無いはずだ。當時の情熱を、思う存分発揮する行動を期待したい。

昨年初めて訪日外国人の進行で「日本すごい」ではなく、「日本の

ないが、当時制作したものを見たとして所持している関係者は多いはずだ。また当時使用許可を得て販売したオリジナルグッズはオリソナルグッズはオリンピック開催の財産を活かしたいとの願いから、現在も販売して

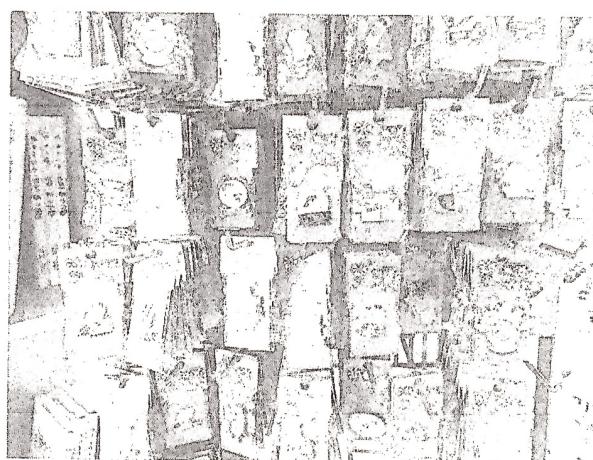
長野オリンピック・ロゴ入りの帽子やTシャツ・記念のオリジナルのピンを付けて出掛けみてはどうだろうか。それらの行動は、オリンピック競技開催地としての財産を更に活かせるのではないか。

6年前、それがたちまち3倍となる急伸だ。政府は、2020年の訪日客を4000万人との目標に挙げているが、現在の動向は予想を上回っている。

長野放送で放映され

ている「YOUは何に日本へ?」を視聴している人も多いはずだ。番組内では性別。年齢を問わず名前ではなく外国人はすべてYOU。MCのバナナマンの進行で「日本すごい」ではなく、「日本の外性に驚かされるばかり

白馬村森上)



白马駅前店舗に陳列するオリンピックグッズは開催した意義を語り続けている